平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 計画の推進

施策番号・名 31 計画行政の推進

基本事業番号·名 31-02 市民視点での計画の策定

事務事業番号	所管課係名			対象指標 活動指標		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		事業費	人件費	トータル								
			事務事業の目的	(対象の数値指標化) (手段の数値打		指標化) 数值指		上)	(実績額) ((理論値)	コスト	改革・改善の余地		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性				
	事務事業名	(事務事業の対象、手段、意図)		指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	1	2	1)+2)	(目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		十成23年度以降に同じた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)			
					(単位)		(単位)		(単位)	(千円)	(千円)	(千円)						
31-02-01	生活文化課	対象	市民	機	平成21年度		平成21年度	15	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選	選択理由)	選択項目	説明(選択	(理由)
	人権・市民相談担当		III M		5		45		11	30	243	273	22年度以降	こ向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生活:	文化課 木暮	昭
	行政相談事業	手段	行政相談		(人)		(目)		(%)				改善の余地		■ なし	23年度以降に向		現状維持
					平成20年度		平成20年度	相談が役に立った	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	行政相談委員法に基づ 3人の行政相談委員	員法に基づき総列 日談委員が 隔月	努大臣が委嘱した 日1回の定例相談	隔月1回の定例 いては、相談要望		
					8 相 (人)	目談回数	(国)	45	18 (%)	30	243	273	と行政週間等に年3回特設行政相談を実施し 相談に応じている。				.000 / 170	
		意図	市民が総務省から委嘱されている行政相 談員を通して行政相談員を通して公共機 関の要望・苦情を伝え、改善を求める。		平成19年度		平成19年度		平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度						
					(人)		45 (回)		(%)	30	243	273						
31-02-02	生活文化課	114	市民、あるいは市に関係するもの	受付件数	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選	選択理由)	選択項目	説明(選択	(理由)
	人権・市民相談担当	対家			461	(件	206		45		5 000	5 000	22年度以降	こ向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生活:	文化課 木暮	昭
	ご意見箱設置事業	手段	ご意見箱(ご意見箱、エコーテレフォン、エコーファックス、メール、手紙、 電話、窓口)を設置し市民の要望、苦情 に答える。		(件)		(件)		(%)	35	7,888	7,923	改善の余地	□ あり	■ なし	23年度以降に向	けた方向性	現状維持
					平成20年度		平成20年度			平成20年度	平成20年度	平成20年度		等が記載されてい		市役所に対するは、課題等の情報		
					560	可答件数	336	意見に対する回答 数/受付件す	60	35	7,888	7,923	日に問しては	+10年 由 に 道 1、		、は、踩磨寺の情報 を進めるうえで必		
					(件)		(件)	年度	(%)	59	1,000		やすくなって	ている。				
			自分の出した要望・苦情に対して回答が入ることにより、市政への参加意識と共に、市への愛着が高まる。また、市も参考となる意見は市政に反映させることができる。		平成19年度		平成19年度		平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	Ę					
		意図			493		286		58	8 35	7,888	7,923						
					(件)		(件)		(%)	55	1,000	1,323						
31-02-03	企画調整課 行財政改革担当	対象	市民	市民(アンケート調査票発送件数)	平成21年度		平成21年度	は 成果指標として活 2 用 し た 数 / アン ケート設問数	平成21年度	平成21年度	平成21年度	度 平成21年度	選択項目	説明(選	選択理由)	選択項目	説明(選択	(理由)
					2,000		46.4		100	642	606	-,	22年度以降	こ向けた方向性	現状維持	所管課長名: 行財政	改改革担当 東	[淳治
	施策成果アンケート調 査事業		市内に居住する20歳以上の男女から、無作為に2,000人を抽出し郵送によるアンケート調査を行った。回収したデータを統計処理し、5月に速報値を、6月に報告書を取りまとめ公表した。		(人)		(%)		(%)				改善の余地		ロなし	23年度以降に向		現状維持
					平成20年度	アンケート調査回	平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度		○活用を市民にア ፩に対する市民の	ピールすることに 関心が高まれば、	・ 市民意識や行動 サービスの成果)		/ - +111 041 114 21
						マグート調査回収率	44.2		100	834	593	1,427	22年度以降	(率を高めることに 降に向けた方向性	(21.9現在) は現	とともに、自由意るために、今後も	見かどを市政	運営の参考とす
					平成19年度		平成19年度			平成19年度	平成19年度	平成19年度	仕分け」のう	う 算化に伴い、ア	業見直しのためのンケートの予算化	1		
		意図	施策の成果が、市民の評価により的確 に把握できる。		2.000		41.4		100	1	1	1	は見送られた実施しない。	こ。よって、22年	度はアンケートを			
					(人)		(%)		(%)	922	601	1,523	行政評価制	川度を継続するた けい悪と考える	めには、アンケー			